

令和元年度事業報告書

令和元年度における事業の状況は、次のとおりであった。

I. 会務・組織運営

1 理事会

- (1) 令和元年 6月13日 令和元年第1回理事会
 - ア 平成30年度事業報告の承認について
 - イ 平成30年度計算関係書類及び財産目録の承認について
 - ウ 定款の一部を改正する定款について
 - エ 苦情解決第三者委員の選任について
 - オ 理事候補者の推薦について
 - カ 監事候補者の推薦について
 - キ 定時評議員会の開催について
- (2) 令和元年 7月 1日 令和元年第2回理事会
 - ア 会長の選任について
 - イ 副会長の選任について
 - ウ 補欠評議員の選任候補者について
 - エ 志賀町共同募金運営委員会運営委員の推薦について
- (3) 令和元年12月20日 令和元年第3回理事会
 - ア 令和元年度資金収支補正予算（第1号）（案）について
 - イ 職員給与規程の一部を改正する規程について
- (4) 令和2年 3月26日 令和2年第1回理事会
 - ア 令和元年度資金収支補正予算（第2号）（案）について
 - イ 令和2年度事業計画（案）について
 - ウ 令和2年度資金収支予算（案）について
 - エ 人工透析通院助成事業実施要綱の制定について
 - オ 第2次志賀町地域福祉活動計画（案）について

2 評議員会

- (1) 令和元年 6月27日 令和元年第1回評議員会
 - ア 平成30年度年度事業報告の承認について
 - イ 平成30年度計算関係書類及び財産目録の承認について
 - ウ 定款の一部を改正する定款について
 - エ 理事の選任について
 - オ 監事の選任について

3 監事会

- (1) 令和元年 5月28日 平成30年度1月～3月の会計監査及び平成30年度決算監査
- (2) 令和元年 8月22日 令和元年度4月～6月の会計監査
- (3) 令和元年11月20日 令和元年度7月～9月の会計監査
- (4) 令和2年 2月12日 令和元年度10月～12月の会計監査

4 評議員選任・解任委員会

- (1) 令和元年 5月28日 令和元年第1回 評議員選任・解任委員会
 - ア 補欠評議員の選任について
- (2) 令和元年 8月22日 令和元年第2回 評議員選任・解任委員会
 - ア 補欠評議員の選任について

5 寄附採納業務

年間寄附件数は13件で、現金1,455,000円の寄附をいただいた。

【寄附金明細】

(単位：円)

No.	氏名	住所	金額
1	又谷 清治	志賀町赤住	5,000
2	今本 進	志賀町福浦港	100,000
3	深美 伸吾	志賀町大福寺	100,000
4	山守 祐晴	志賀町仏木	50,000
5	稲岡 行枝	志賀町末吉	100,000
6	堂角 直友	志賀町東小室	100,000
7	落合 邦夫	志賀町大福寺	120,000
8	高山 孝	志賀町代田	200,000
9	匿名		100,000
10	匿名		450,000
11	匿名		100,000
12	志賀町女性団体協議会		20,000
13	志賀町婦人加工連絡会		10,000
計			1,455,000

6 基金運用

- (1) 寄附金905,000円及び基金管理にかかる預金利息2,528円をまごころ基金に組み入れた。
- (2) ボランティア育成基金管理にかかる預金利息10円をボランティア育成基金に組み入れた。
- (3) 社会福祉法人はまなす会の福祉車両購入助成金として1,200,000円、NPO法人なでしこ志賀の福祉車両購入助成金として1,200,000円、本会の訪問車両2台分の購入費として2,378,754円、公用車購入費として3,570,000円を取り崩した。

【基金運用状況】

(単位：円)

基金名		志賀町社会福祉協議会 まごころ基金	志賀町ボランティア 育成基金	運用資金積立預金	合計
平成30年度末		28,539,009	1,147,777	50,886,000	80,572,786
内 訳	増加額	907,528	10	0	907,538
	減少額	8,348,754	0	0	8,348,754
	差引増減額	△7,441,226	10	0	△7,441,216
令和元年度末		21,097,783	1,147,787	50,886,000	73,131,570
管 理 内 訳	現金	0	0	0	0
	預金	定期 15,000,000	定期 0	定期 50,886,000	73,131,570
		普通 6,097,783	普通 1,147,787	普通 0	
	その他	0	0	0	0

II. 地域福祉活動推進事業

1 地域福祉活動計画の推進

- (1) ボランティアのニーズ把握と情報提供

ボランティアセンターにおいてニーズの把握と情報提供や関係機関との連絡調整を図った。

- (2) 世代間交流の推進

老人クラブ連合会の運動会で園児が遊戯やゲームに参加することの支援、高齢者余技展での世代間交流やリハビリ友の会と高校生との交流を支援する事業を行った。

- (3) 事業者の協力による見守り支援体制の構築

石川県及び志賀町と協定を締結して見守り活動を行っている民間企業の把握に努めた。

- (4) サロン活動や交流活動の支援

社協広報誌「しかふくし」やホームページに現在活動している様子を掲載し、サロン活動の

周知を図った。

(5) 福祉関係機関の連携による情報提供の仕組みづくり

地域包括支援サブセンター業務を通じて、地域包括支援センター、福祉・医療関係機関と情報交換を行った。

(6) 福祉ニーズの把握と社協の役割の明確化

羽咋郡市自立支援協議会に参加し、障がい者の地域生活支援拠点等の整備にむけた取り組みについて検討したほか、生活課題の把握に努めるとともに解決に向けて協議した。

(7) 第2次地域福祉活動計画の策定

第1次計画の基本理念や基本目標を引き継ぎながら、計画の見直しや新たな取り組みを加えて取りまとめた。

2 第12回社会福祉大会の開催

7月24日に町内の福祉関係者278名が一堂に会し、福祉に対する認識を深め、地域福祉の振興を図るため、本大会を実施した。会長表彰被表彰者は25名・1団体であった。志賀高校福祉系列3年生による高齢者や障がい者との交流を通して学んだことの発表や、西光寺住職・三味線坊主 寺尾昌治氏による「お坊さんと考える「終活」について」という演題で記念講演を開催した。

3 総合相談事業（町受託事業）

総合相談所を志賀地域・富来地域において毎月1回ずつ開設し、地域住民の日常生活上の心配ごとについての相談に応じ、指導・助言を行った。

【月別相談件数】

(単位:件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
富来	2	3	4	2	1	0	2	3	1	1	3	1	23
志賀	3	5	6	4	5	2	3	3	3	3	4	1	42

【相談内容】

	生計	年金	職業・生業	住宅	家族	結婚	離婚	健康・衛生	医療	精神衛生	人権・法律	財産	事故	母子保健・児童福祉	教育・青少年	心身障害者(児)福祉	母子福祉・父子福祉	老人福祉	苦情	その他	合計
富来	2		2	1	1				1			15						1	1	1	25
志賀	5	1	2	2	4			1		1	1	22	1						3	9	52

4 高齢者生きがい事業（町受託事業）

羽衣大学を富来活性化センター及び文化ホールにおいて各6回開催し、高齢者の生きがいづくりを図った。

【講義内容・出席者数（出席率）】

	内 容	富来	志賀
第1講義 10月23・24日	健康寿命を延ばすことがみんなをしあわせにする ～介護予防は足・脚の健康から～ 米子工業高等専門学校教養教育科 教授・博士 南 雅樹 氏	291名 (78%)	169名 (81%)
第2講義 10月30日	これからの食事のポイントは？ ～安全な食事とその作り方～ 管理栄養士 橋本良子 氏	287名 (77%)	—
第2講義 10月31日	今、生かされて往く 真宗大谷派 泉福寺 住職 福谷祐敬 師	—	165名 (79%)
第3講義 11月27日	生老病死と老後のより良い在り方 日蓮正宗 浄願寺 第二代住職 木内信随 師	262名 (70%)	—
第3講義 11月28日	これからの食事のポイントは？ ～安全な食事とその作り方～ 管理栄養士 橋本良子 氏	—	142名 (68%)
第4講義 12月4・5日	いさぎよく生きる ～自利利他の心～ 飛騨千光寺 住職 大下大圓 師	263名 (71%)	149名 (72%)

第5講義 12月11・12日	心ほっこり 生句賛歌！ —あの歌・この歌で元気力アップ— うたごえ喫茶の店・あかとんぼ 主宰 米村博実 師	282名 (76%)	142名 (68%)
第6講義 12月18・19日	はじめるのに遅すぎることはないのです。 ～なんでも興味津々！キモチはいつも一年生！～ 落語家 月亭天使 氏	279名 (75%)	151名 (73%)
入学生徒数		372名	208名
卒業証書授与者数		253名	136名

5 身体障害者等移送サービス事業

車椅子搬送用自動車等を富来、志賀共に配置し、公共の交通機関を利用することが困難な身体障がい者や要介護高齢者の外出支援を行った。(利用登録者 富来：17名 志賀：49名)

【月別利用者数】

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
富来	3	4	3	3	4	7	6	5	6	5	5	2	53
志賀	19	18	20	20	19	16	15	20	18	16	17	18	216

【月別利用延べ回数】

(単位：回)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
富来	6	6	4	5	5	10	10	9	10	7	8	2	82
志賀	25	20	24	27	25	19	22	23	22	18	22	21	268

6 老人福祉員事業 (町受託事業)

町内の一人暮らし高齢者の安否確認や日常生活の支援をすることで、地域で安心した生活が送れるよう514名の老人福祉員を配置した。

【老人福祉員配置状況一覧】

(単位：人)

地 区	一人暮らし		老人福祉員	地 区	一人暮らし		老人福祉員
	男	女			男	女	
高浜地区	47	137	31	福浦地区	13	27	1
志加浦地区	52	69	54	熊野地区	18	34	37
堀松地区	29	48	15	富来地区	32	94	81
上熊野地区	25	37	25	稗造地区	18	32	17
土田地区	36	68	42	東増穂地区	18	47	16
加茂地区	8	17	23	西増穂地区	19	32	28
下甘田地区	10	17	12	西海地区	26	44	23
中甘田地区	28	48	48	西浦地区	22	66	61
				計	401	817	514

7 高齢者等除雪対策事業 (町受託事業)

自力で除雪が困難な高齢者世帯等に対し、小型除雪機等による除雪作業の支援を行い、安全と安心を図る事業であるが、令和元年度の利用は0件であった。

8 福祉サービス利用支援事業 (県社協受託事業)

認知症高齢者等、判断能力が十分でない方に対して、金銭管理や福祉サービス利用等の援助を行うことで、地域における自立した日常生活を送れるよう支援した。(3件)

9 広報啓発事業

社協広報誌「しかふくし」を年間3回発行し、ホームページで地域福祉に関する広報・啓発を行った。< ホームページアドレス <http://www.snet.tv/~s-shakyo/index.html> >

10 福祉団体事務局

各種団体の事務及び活動の支援を行い、事業の活性化及び自立促進に努めた。(ボランティア連絡協議会、民生委員児童委員協議会、老人クラブ連合会、心身障害者福祉協会、母子寡婦福祉会、遺族会、傷痍軍人会、英霊にこたえる会、赤十字奉仕団、リハビリ友の会、地域福祉推進チーム)

11 子どもの学習支援事業 (町受託事業)

生活保護受給世帯や就学援助受給世帯の児童に対し、学習指導や日常生活相談などの家庭以外

の居場所の提供を通じた人的支援を行うことにより、学力の向上等を図り将来の安定的な就業と自立の促進につなげるため、学習サポーターや参加者を募り学習支援を行った。

(小学生対象 開催時期8月 回数：8回 登録人数：4名 参加者数 延べ23名)

Ⅲ. ボランティアセンター活動事業

1 ボランティアの登録・斡旋・相談

ボランティア活動者を登録し、活動の斡旋を行うとともにボランティア活動に関する相談を受けた。(登録：772名 斡旋：177名 相談：42件)

2 ボランティア活動保険の加入

ボランティア活動保険等の加入手続きと掛金の助成を行った。(活動保険加入者1,302名, 行事用保険10団体、福祉サービス総合補償2件、送迎サービス補償3件)

3 福祉教育の推進

(1) 児童・生徒のボランティア活動普及事業協力校との連携及び支援

石川県社会福祉協議会の協力指定校である志賀小に対して、学校内外の活動を通し、福祉のまちづくりが展開されるよう支援した。

(2) 出前ぼらんていあ講座の開催

志賀高校、志賀小の児童・生徒に対して、出前ぼらんていあ講座を実施し、ボランティアについての研修や高齢者疑似体験など、福祉教育の普及啓発に努めた。

4 認知症予防体操教室の開催

高齢者サロンの世話人等が認知症に効果のある簡単な体操を学び、それぞれの会へ持ち帰り、認知症予防の普及を行った。

5 地域介護予防活動支援事業(町受託事業)

高齢者の閉じこもり防止と介護予防支援のため、そくさい会連絡会を年11回開催し、そくさい会へ職員派遣などの活動支援及び指導を行った。

【そくさい会地区別開催一覧】

(単位:回)

名称	回数	名称	回数	名称	回数	名称	回数
1・3区小浜	12	堀松	12	矢駄	11	富来高田	11
5区	12	緑ヶ丘	12	安津見	12	富来七海	12
6区	12	梨谷小山	12	加茂地区計	23	富来生神	12
大念寺	12	北吉田	12	二所宮	11	富来地区計	68
今市	12	清水今江	12	福井	12	里本江	11
あさひ	12	末吉	12	大坂	12	給分	11
はまなす	11	堀松地区計	84	米浜	12	中浜	11
新大念寺	11	釈迦堂	12	下甘田地区計	47	相神	11
東旭	12	直海	12	大島	12	草江	11
高浜地区計	106	米町	12	坪野	10	東増穂地区計	55
川尻	11	牛ヶ首	12	甘田	12	西海風戸	11
町	12	上熊野地区計	48	中甘田地区計	34	西海風無	15
安部屋	12	徳田	12	ふくら	11	西海地区計	26
安部屋営団	12	館開	11	福浦地区計	11	赤崎	11
上野	12	仏木	12	豊後名	12	鹿頭	11
小浦	11	印内	11	中山	12	笹波	5
百浦	12	栗山	6	熊野地区計	24	西浦地区計	27
赤住	12	土田メンズ	10	富来地頭町	11		
けんこう村	12	土田地区計	62	富来領家町	11		
志加浦地区計	106			しおさい	11	合計 62ヶ所	709

6 ボランティア活動の支援

古切手、プリペイドカード、インクカートリッジ等の収集と情報提供を行った。

- 7 ボランティア団体の支援
各団体の活動が計画的・継続的に発展するために相互の連絡調整を行った。
- 8 各種用具の短期間貸出
ボランティア団体やそくさい会等にレクレーション用具等の貸出を行った。

IV. 共同募金・日赤活動

1 共同募金配分金事業

- (1) 平成 30 年度に集まった一般募金から配分を受け、福祉教育や地域福祉に関する事業を実施した。

ア ひとり親家庭で義務教育が修了する生徒へ記念品を贈呈した。(7 件)

イ 社協広報誌「しかふくし」を発行し、社協活動のPRを行った。(年 3 回)

ウ 福祉活動計画推進事業、社会福祉大会等への支援を行った。

エ 外出支援事業として車いすの貸し出しを行った。(富来：23 件 志賀：18 件)

オ 生活サポート事業として、在宅で援助が必要な要支援者に対して、志っはりサポート隊を派遣して一緒に家事援助等を行うことで、自立した生活を支援した。(利用者：登録 47 名、利用者 28 名、延べ利用回数 162 回、サポーター：登録 57 名、活動者 31 名、延べ活動回数 380 回)

- (2) 令和元年度に集まった歳末たすけあい募金から配分を受け、地域福祉活動の促進を図るため、80 歳以上の高齢者世帯へ歳末慰問事業を行った。(富来：352 世帯 志賀：374 世帯)

2 志賀町共同募金委員会事業

- (1) 10 月から 12 月までを運動期間とし、各区に戸別募金を依頼したほか街頭募金(福祉団体役員、志賀高校生、ボランティア)の実施や募金箱の設置(町内 66 ヶ所)を行った。

【募金内訳】

種 別	件数(件)	金額 (円)	備 考
戸別募金	5,826	2,039,050	目安額 1 戸 350 円
街頭募金	1	55,694	10 月 1 日ロッキー志賀の郷店、どんたく高浜店
学校募金	5	60,805	小学校 2 校、中学校 2 校、高校 1 校
職域募金	9	79,654	サンケンオプトプロダクツ労働組合、石田工業、長根尾電気商会、グループホームまごころの家すみよし、グループホーム志賀の里すみよし、志賀農業協同組合、北陸電力、役場職員互助会、社会福祉協議会
法人募金	1	10,000	北陸電力
募金箱	66	164,385	いこいの村能登半島、能登ロイヤルホテル、能登ゴルフ倶楽部、石川サンケン本社・志賀工場、アリス館志賀、花のミュージアムフフローリィ、アクアパークシ・オン、みちのえき旬菜館、道の駅とぎ海街道、海洋センターフレア、北國銀行(高浜・富来支店)、のと共栄信用金庫(高浜・富来支店)、町内郵便局(12 か所)、どんたく高浜店、ロッキー(志賀の郷・富来店)、大和ハウス工業、北市、食品ストアー志賀の里、うな枳、ますもと、くっぺ、闘牛茶屋、花や 249、味やしん、ドライブインのうみ、8 番らーめん(高浜・富来店)、市左衛門、シュクレ・プラーージュ、海洋センターフレア、富来病院、向クリニック、増徳浦ショッピングモールアスク、トギストアー、てらおか風舎、八幡屋、満升、はし本、いさりび、TAKAYAMA、エビス屋、はまのデパート、車座、花よし、とよ島、やすらぎ荘、シルバーハウス、とぎ地域福祉センター、役場、社会福祉協議会(本・支所)
イベント募金	3	12,412	農業まつり、健康フェア、羽衣大学
合計	5,911	2,422,000	

【使途内訳】

(単位：円)

種 別	金 額	備 考
広域配分	376,000	石川県共同募金会へ
運動経費	50,000	令和2年度一般募金の活動経費へ
社会福祉事業配分	1,898,000	令和2年度の事業へ
災害準備金拠出額	98,000	令和元年度災害準備金拠出分
合計	2,422,000	

- (2) 12月に歳末たすけあい募金を実施し、街頭募金(民生児童委員富来地域地区会長、石川県立志賀高等学校生徒・先生)を実施した。

【募金内訳】

種 別	件数(件)	金額(円)	備 考
街頭募金	1	32,286	12月17日 ショッピングモールアスク
寄附	1	10,000	日蓮宗本成寺
合計	2	42,286	

- (3) 社協広報誌「しかふくし」において、募金活動の周知を図った。
(4) 町内の福祉団体への事業助成を行った。(社会福祉協議会、老人クラブ連合会、手をつなぐ育成会、心身障害者福祉協会) また、ボランティア活動普及のため、町内の学校にボランティア事業に対する助成を行った。(富来小学校、志賀中学校、富来中学校、志賀高等学校)

3 日赤志賀町分区事業

- (1) 5月を赤十字運動月間とし、全戸に広報誌を配布した。
6月に各区に戸別社資の依頼を行った。また、志賀地域においては赤十字奉仕団、富来地域においては各区長に日赤社員の社費の徴収を依頼した。

【社資内訳】 (新規加入 金色有功章：1名 銀色有功章：0名 特別社員：9名 社員：9名)

区 分	件数(件)	金 額(円)	備 考
戸 別	5,683	1,704,800	目安額一戸300円
加 入 社 員	金色有功章	8	620,000
	銀色有功章	13	41,000
	特別社員	887	847,047
	社 員	164	104,100
	小 計	1,072	1,612,147
寄 附	3	153,053	
合 計	6,758	3,470,000	

- (2) 特別社員、有功章社員が死亡した際、日本赤十字社石川県支部長の弔辞をお供えした。(富来：26名 志賀：9名)
(3) 平成30年7月豪雨災害義援金に8,149円、平成30年北海道胆振東部地震災害義援金に13,959円、令和元年台風19号災害義援金に114,247円の受付をした。

V. 生活福祉資金貸付事業 (県社協受託事業)

低所得世帯、障害者世帯及び高齢者世帯に対して、その世帯の経済的自立、在宅福祉及び社会参加の促進を図り、安定した生活を送ることができるよう生活福祉資金の貸付事務を行った。令和元年度中に償還が完了した者は1名、償還中の12名で、新規の貸付は0件であった。

VI. 小額貸付事業

緊急に生活資金を必要とする者に対し、生活のつなぎ資金として小口貸付を行い、生活の安定を図った。令和元年度における貸付は2件であった。

Ⅶ. 在宅介護サービス事業

1 居宅介護支援事業

在宅の要介護及び要支援高齢者に対して日常生活を営むために必要なケアプランを作成し、町や福祉サービス提供事業者と連携を図りながら、適切な保健医療・福祉サービスが効果的に提供されるように努めた。

【年度別利用者実績】 (単位:人)

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
富来	567	475	476	710	672
志賀	1,171	1,203	1,290	895	905

【月別利用者数】 (単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
富来	41	42	42	47	50	49	44	46	48	50	52	56	567
志賀	99	101	101	100	102	102	95	95	94	94	94	94	1,171

【要介護度別延べ利用人数(割合)】 (単位:人)

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
富来	189(33.3%)	156(27.5%)	104(18.4%)	84(14.8%)	34(6.0%)	567
志賀	430(36.7%)	300(25.6%)	207(17.7%)	167(14.3%)	67(5.7%)	1,171

【月別介護予防ケアプラン作成件数】 (単位:件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
富来	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
志賀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

2 訪問介護事業

要介護高齢者に対してホームヘルパーを派遣し、在宅で日常生活を営むことができるよう生活援助及び身体介護サービスの提供を行った。

【年度別利用者実績】 (単位:人)

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
富来	120	462	476	475	436
志賀	1,021	593	589	534	539

【月別利用者数】 (単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
富来	39	41	40										120
志賀	56	58	56	98	100	101	99	95	98	92	86	82	1,021

【要介護度別延べ利用人数(割合)】 (単位:人)

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
富来	58(48.4%)	37(30.8%)	7(5.8%)	12(10.0%)	6(5.0%)	120
志賀	369(36.1%)	237(23.2%)	212(20.8%)	125(12.3%)	78(7.6%)	1,021

【要介護度別延べ提供回数(割合)】 (単位:回)

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
富来	611 (38.0%)	587 (36.5%)	97 (6.0%)	232 (14.5%)	80 (5.0%)	1,607
志賀	4,249 (30.2%)	3,485 (24.8%)	3,086 (22.0%)	2,143 (15.2%)	1,094 (7.8%)	14,057

3 介護予防・日常生活総合支援事業

要支援高齢者及び事業対象者に対してホームヘルパーを派遣し、必要な援助を行うことで自立した日常生活を継続できるように努めた。

【年度別利用者実績】

(単位:人)

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
富来	42	180	217	251	273
志賀	275	150	148	171	173

【月別利用者数】

(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
富来	14	14	14										42
志賀	10	9	10	26	26	26	27	29	27	28	30	27	275

【要介護度別延べ利用人数(割合)】

(単位:人)

	事業対象者	要支援1	要支援2	計
富来	16(38.1%)	8(19.0%)	18(42.9%)	42
志賀	121(44.0%)	102(37.1%)	52(18.9%)	275

【要介護度別延べ提供回数(割合)】

(単位:回)

	事業対象者	要支援1	要支援2	計
富来	84(35.9%)	31(13.2%)	119(50.9%)	234
志賀	764(49.8%)	486(31.7%)	284(18.5%)	1,534

4 在宅高齢者軽度生活援助事業(町受託事業)

介護認定で自立と判定された独居高齢者等に対してホームヘルパーを派遣し、軽易な日常生活の援助を行うことで自立した在宅生活の継続及び要介護状態への進行防止を図る事業であるが、令和元年度の利用は0件であった。

【年度別利用者実績】

(単位:人)

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
富来	0	0	0	0	18
志賀	0	0	2	12	12

【月別利用者数】

(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
富来	0	0	0										0
志賀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

5 移動支援事業(町受託事業)

屋外での移動が困難な障がい者等に対して、ホームヘルパーによる外出の支援を行い、地域での自立生活及び社会参加の促進を図った。

【年度別利用者実績】

(単位:人)

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
富来	0	4	12	12	4
志賀	11	21	16	35	50

【月別利用者数】

(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
富来	0	0	0										0
志賀	1	1	1	1	0	1	1	2	1	0	1	1	11

6 居宅介護事業

障がい者(身体・知的・精神)に対してホームヘルパーを派遣し、身体介護や自立した日常生活が送ることが出来るよう家事援助等の支援を行った。

【年度別利用者実績】

(単位:人)

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
富来	18	61	53	65	81
志賀	178	133	124	146	109

【月別利用者数】

(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
富来	6	6	6										18
志賀	10	9	10	18	16	17	16	16	16	17	16	17	178

7 同行援護事業

視覚障がいにより、移動に著しい困難を有する方等に対してホームヘルパーを派遣し、外出時における移動に必要な情報を提供するとともに移動の援護を行う事業であるが、令和元年度の利用は0件であった。

【年度別利用者実績】

(単位:人)

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
富来	0	0	0	0	0
志賀	0	0	0	0	0

【月別利用者数】

(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
富来	0	0	0										0
志賀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

8 重度訪問介護事業

重度の肢体不自由または重度の知的障がい、もしくは精神障がいがあり常に介護を必要とする方の居宅に訪問し、入浴、排泄、食事等の生活全般にわたる援助や外出時における移動中の介護を総合的に行うことで、在宅での生活が続けられるように支援を行った。

【年度別利用者実績】

(単位:人)

	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
富来	0	0	0	0	0
志賀	1	4	5	0	0

【月別利用者数】

(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
富来	0	0	0										0
志賀	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1

VIII. 地域包括支援サブセンター受託事業 (町受託事業)

1 高齢者総合相談支援業務

高齢者の生活・介護などの困りごとについて相談を受け付け、個々の高齢者にどのような支援が必要かを判断し、地域における適切なサービス、福祉・医療関係機関などにつなげる等の支援を行った。(延べ86件)

2 権利擁護業務

高齢者の人権や財産を守る権利擁護事業、高齢者自身が自分の判断で財産等を管理することができなくなった時に活用される成年後見制度など、権利擁護に関するサービスや制度を活用するために、行政機関や福祉関係機関につなぎ、高齢者の虐待防止や消費者被害の防止を図った。(延べ66件)

3 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

地域の介護支援専門員や主治医をはじめ、様々な福祉・医療の関係者が連携・協働することで、保健・医療・福祉、その他の生活支援サービスを含め、地域における様々な社会資源を活用し(包括的)、高齢者がどんな心身状態になっても途切れることなく(継続的)、在宅でも施設でも、その人の生活を支援した。(延べ249件)

4 介護予防支援と介護予防ケアマネジメント業務

要介護・要支援認定における要支援1・2の方及び事業対象者に対する介護予防支援、要介護・要支援状態になる恐れがある方に対するケアプランの作成を行い、適切なサービスが包括的か

つ効果的に提供されるよう必要な援助を行った。(延べ 239 件)

IX. 在宅医療・介護連携支援センター受託事業 (町受託事業)

1 在宅医療に関する専門相談業務

かかりつけ医や介護支援専門員といった医療・介護等のサービス提供者からの在宅医療サービスに関する相談(訪問診療、訪問看護、後方支援病院等)に対して、必要な情報提供、支援・調整を行った。(延べ 243 件)

2 病院からの退院調整の支援業務

退院後の円滑な在宅医療を開始する際に支障がある場合、医療機関の地域連携室からの要請に応じ、医療機関が実施する退院調整の支援を行った。(延べ 70 件)

3 多職種・多機関の連携推進

地域の医療・介護等関係者の連携を実現するため、お互いの業務の現状等を知り、顔の見える関係づくりを目的とした研修会等を行った。(71 回)